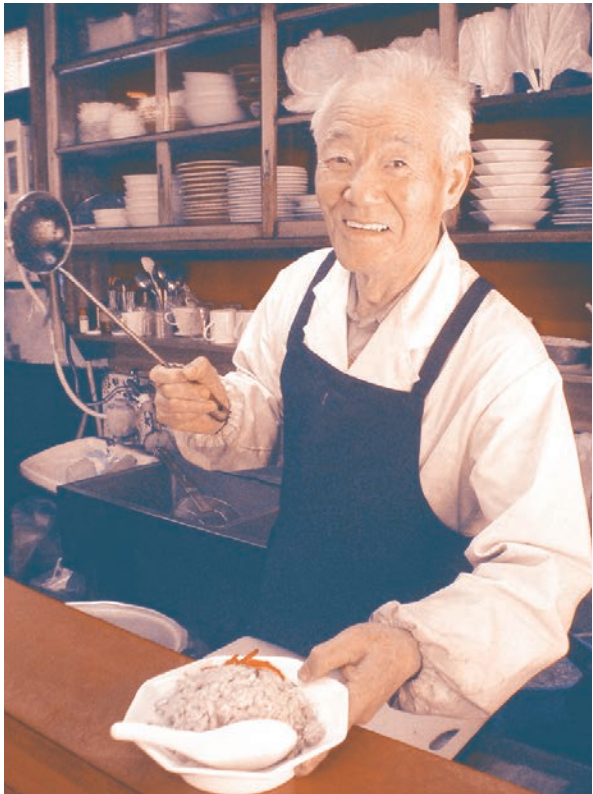


国の対策待ち
でなく

区内中小企業 79%が収益減 品川区は仕事確保、くらし支援を急げ



周りの町工場に仕事がなくて、こっちも商売あがったり。
定額給付金を支給して、それで消費税をあげるなんて、
もう、いい加減にしてほしい。

西五反田の中華料理店 藤森旭さん

商店街装飾灯 電気代補助が2倍化

失業や中小企業の倒産、
不況の風が吹き荒れるなか、
国の「経済対策」は、新幹
線や港湾の建設など、大企
業の応援が中心。まともな
対策がありません。

共産党は区民のくらし、
営業を応援するため、国の
対策待ちでなく、品川区自
らが緊急策を行うよう要求。
昨年12月に行った新年度予
算要望の際も、濱野区長に

追加対策の実施を

共産党は区が発表した緊
急対策を区内業者や商店会
に報告。具体的な要望を調
査し、追加の対策を区に提
案してきました。その内容

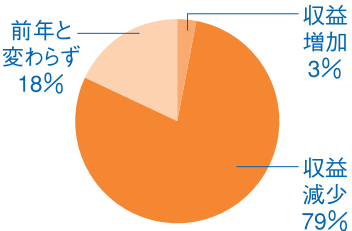
求めました。

これが今年1月に緊急総
合経済対策として実現しま
した。この中で共産党が求
めてきた「商店街装飾灯電
気代補助2倍化」「無利子融
資や信用保証料補助増額」
も盛り込まれました。

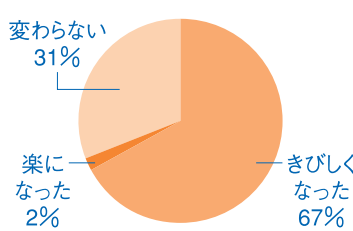
共産党区議団が実施した区民アンケートに
1172通(4月25日現在)の回答が寄せられました。
ご協力ありがとうございました。アンケートでは67%
の区民が「生活がきびしくなった」。中小企業の79%
が「収入減」と回答。「仕事がまったくない」との深刻

な意見もよせられました。くらし・営業の急激な悪化
は、自民・公明政権が進めた「構造改革」が原因。共産
党は、国会での論戦とあわせ、区議会でも、区民要望の
実現に奮闘。品川区に区内業者の仕事確保、くらしと
営業を支える緊急対策の実施を求めました。

中小企業の経営状況



ここ数年での暮らしぶり



今年1月から4月にかけて共産党区議団が実施した第6回区民アンケートの結果は、
全文をホームページに掲載する予定です。

障害者の雇用確保、住まいの増設を

障害者団体との懇談、施設調査をもとに
区に実施を要求。実現に向けがんばります。

1 区役所で、雇用を増やし、 企業の模範に

不況のもと、障害者を受け入れる企業が一段と狭
められています。共産党は、区内に障害者の働く場を
拡大するため、まず区が障害者(身体、知的、精神)の
雇用の場をつくり区内企業に広げること、福祉的就労
に対する官公需の発注、公共施設への福祉ショップ出
店支援を要求。区は「雇用の研究を進める」と前向き
な答弁をしました。

※グループホーム・ケアホームとは、知的・精神障害者が少人数で自立しながら生活する場。世話人が食事
づくりや、金銭管理の援助、日常生活相談にのります。ケアホームは、介護が必要な方の施設です。

2 障害者のための グループホーム・ケアホームの増設を

障害者団体との懇談で、家族から「親が元気なうち
に地域で暮らせる施設をつくって欲しい」と強い要望
が出されました。共産党は、区の施設入居者の7割が
家族と離れ区外で生活している実態を示し、だれもが
区内に住み続けられるよう、グループ
ホーム・ケアホーム(*)の増設を要求。
区に、その必要性を認めさせました。



高齢者の医療費助成を 共産党が条例提案

共産党は高齢者の医療費負担を軽減する
条例を提案しています。75歳以上の区民に
入院時の医療費を軽減するため、月1万円を
上限に支援金を支給するものです。同様の
制度は23区内でも千代田区、新宿区、中野
区が実施。品川区でも実現させるためにが
んばります。なお、日の出町では今年4月から
75歳以上の医療費を無料化しました。

生活困窮、医療、介護など…
お気軽にご相談ください

日本共産党品川区議団

電話 5742-6818



安藤たい作

事務所 西品川3-16-3
電話 3491-3230



いいぬま雅子

事務所 小山2-16-1
電話 3787-5425



菊地貞二

事務所 南品川6-19-8
電話 5462-2133



鈴木ひろ子

事務所 中延2-11-7
電話 3783-8833



なかつか亮

事務所 大井3-19-7-101
電話 3773-3231



南 恵子

事務所 南大井3-1-8-2F
電話 3298-2530



みやざき克俊

事務所 豊町6-2-1
電話 3786-6674